

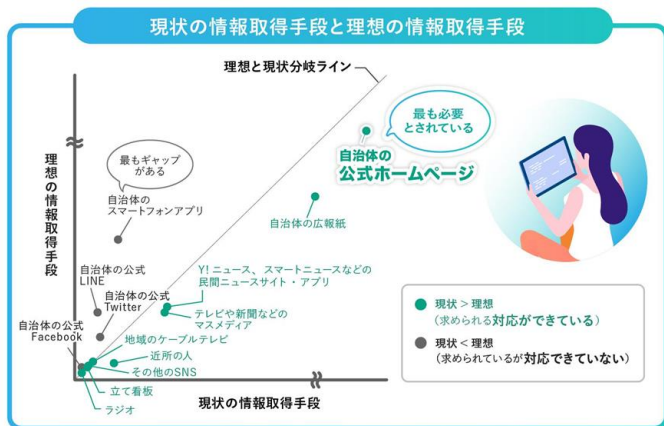
提案企業 株式会社サイバーエージェント（東京都）

テーマ データ解析を通じた県民の潜在ニーズ分析、自治体ホームページの最適化

実施目的 福井県に関する検索ワードやSNS投稿の分析と、県公式ホームページ全体のアクセス状況の分析により、県民が必要としている情報や潜在的ニーズを調査し、ユーザー目線による最適な情報発信・政策立案等への活用を図る。

<従来の方法>

県民の情報取得手段として自治体公式ホームページが最も必要。



- ・表示が煩雑、最新情報が分かりづらい。
- ・県民が必要としている情報にスムーズにアクセスできる仕組みの構築が必要。

<今回の実証で実現したいこと>

データ解析やA/Bテスト、県民への聞き取りにより、公式ホームページの利用状態を調査。

職員が施策立案の際に検索キーワード等を参照できるダッシュボードを構築。



『高齢者にも優しいUI/UX』の確立

検索ワードや閲覧ページなどをリアルタイムで閲覧できるダッシュボードの構築

県民が必要としている情報・ニーズの把握
潜在ニーズに沿ったより効果的な情報発信、政策立案

連携先 福井県

提案企業 株式会社サイバーエージェント（東京都）

テーマ データ解析を通じた県民の潜在ニーズ分析、自治体ホームページの最適化

Q. CO-FUKUIに応募したきっかけを教えてください。

弊社では2020年に自治体様向けにサービスを提供する専門組織を設立し、プロダクトの開発を進めていました。ユーザー向けの情報発信に関するサービス提供の知見から、行政のHPの改善に寄与できるのではと仮説を持ち検討していたところ本事業を知り、民間向けの新しい取組を実証実験する良い機会であると考え、応募しました。

Q. CO-FUKUIで実証実験を行ってよかった点を教えてください。

県庁様や関係組織様のご紹介により、県民の皆様へのご協力依頼を非常にスムーズに進めることができました。また、今回行政HPのA/Bテスト等を実施したのですが、公式HPなどで実証実験をするとすると、多くの関係者の方に同意を頂く必要があり実施が難しいのですが、本実証実験の取り組みということでご理解を頂きやすかった点が良かったです。

Q. 本事業で何を実証したのか教えてください。また、その結果もあわせて教えてください。

県民の皆様が入手したい情報のニーズを把握し、適切に届けられる情報発信体制の構築を目的とし、県庁様のHPへのアクセスデータの分析及びHPデザインの改善案の検討を実施しました。潜在的ニーズの把握に向けて、分析のためのシステムの開発及び効果的に分析し、政策や情報発信に反映するための検証を行うことができました。また、県庁様のHPのデザインについてのA/Bテストを行うことで、適切なデザイン案を作成することができました。

Q. 今後、実証実験を行った事業をどのように展開していくのか教えてください。

県庁様のHPとしては、改善版のデザインイメージは完成しましたので、今後も県庁様と協議し、どのように実装を進めていくか、検討を進めたいと考えております。また、県民の皆様のニーズ把握のシステムもたたき台が完成しましたので、実際に活用していただきながらプロダクトの改善を行いつつ、収集した情報を政策や情報発信に反映するためのサポートをさせて頂きたいと考えております。

関係者のコメント

福井県
DX推進課

スマートフォンやタブレット端末などの普及に伴い、ホームページによる情報発信は県の広報ツールの中でもその重要性が一層高まっています。また、社会状況の変化に柔軟に対応した県民の潜在ニーズに基づく情報発信や政策立案が求められています。今回の実証実験では、県HPのアクセス状況や振る舞いを分析することでHPのデザインの最適化、県民の潜在ニーズ把握に協力しました。今後、この成果を踏まえ、県民目線による最適な情報発信に取り組んでいきます。

■プロダクトイメージ

A/Bテストによるデザインの改善検討を行い、見やすさを重視したページ案の作成を行った。

